

追加アンケート調査結果について

1. アンケート回収結果

追加アンケートの回収結果（地区別、全体合計）を以下に示す。

自治会（71.8%）や高校（100%）の回収率が特に高く、事業者代表（53.1%）や事業者個人（43.8%）、商店会（47.6%）も高い回収率となっている。

自治会アンケート（自治会長・連合会長）

地区名	配布数	回収数	回収率 (%)
平塚地区	37	32	86.5%
海岸地区	24	13	54.2%
大野地区	77	55	71.4%
豊田地区	9	5	55.6%
神田地区	35	23	65.7%
城島地区	6	4	66.7%
岡崎地区	9	9	100.0%
金田地区	5	3	60.0%
金目地区	14	9	64.3%
土沢地区	8	5	62.5%
旭地区	17	15	88.2%
合計	241	173	71.8%

事業者アンケート（代表）

地区名	配布数	回収数	回収率 (%)
平塚地区	2	0	0.0%
海岸地区	4	3	75.0%
大野地区	15	10	66.7%
豊田地区	2	1	50.0%
神田地区	9	3	33.3%
城島地区	-	-	-
岡崎地区	-	-	-
金田地区	-	-	-
金目地区	-	-	-
土沢地区	-	-	-
旭地区	-	-	-
合計	32	17	53.1%

事業者アンケート（個人）

地区名	配布数	回収数	回収率 (%)
平塚地区	20	0	0.0%
海岸地区	40	40	100.0%
大野地区	150	83	55.3%
豊田地区	20	9	45.0%
神田地区	90	8	8.9%
城島地区	-	-	-
岡崎地区	-	-	-
金田地区	-	-	-
金目地区	-	-	-
土沢地区	-	-	-
旭地区	-	-	-
合計	320	140	43.8%

商店会アンケート（商店会長）

地区名	配布数	回収数	回収率(%)
平塚地区	28	18	64.3%
海岸地区	3	0	0.0%
大野地区	4	1	25.0%
豊田地区	-	-	-
神田地区	1	0	0.0%
城島地区	-	-	-
岡崎地区	1	0	0.0%
金田地区	-	-	-
金目地区	1	1	100.0%
土沢地区	-	-	-
旭地区	4	0	0.0%
合計	42	20	47.6%

高校アンケート（市内高校）

	配布数	回収数	回収率(%)
合計	11	11	100.0%

2. アンケート集計結果

アンケート集計結果を以下の通り、対象者別に整理した。

2.1 自治会アンケート

公共交通の利用のしやすさをみると、「区域全体として利用しやすい」が51.8%と、自治会の半数が利用しやすいと感じている一方で、「大半の区域では利用しやすいが、一部利用しづらい区域もある」、「一部の区域では利用しやすいが、大半の区域では利用しづらい」、「区域全体として利用しづらい」と、利用しづらいと感じている自治会が45.2%みられる。

自治会区域は、公共交通（鉄道、バス）の利用がしやすいと感じますか。

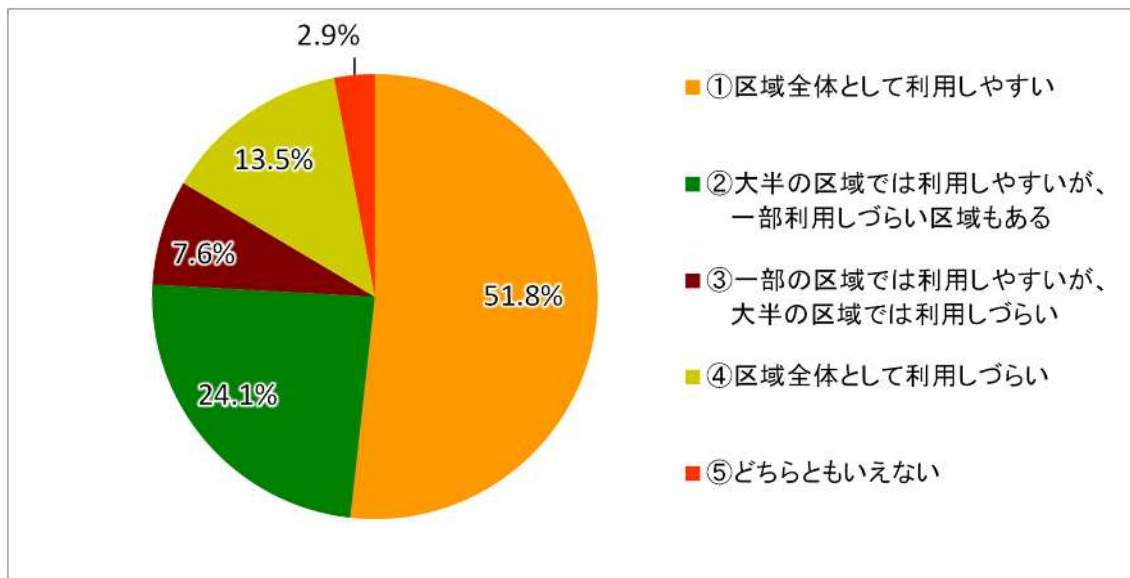


図 公共交通の利便性

地域公共交通に対する主だった意見

- 【平塚地区】・JR平塚駅は使いやすいが、その他の鉄道路線の駅は使いにくい。
- 【海岸地区】・JR平塚駅が近く利用しやすいため、バス利用がほとんどない。
 - ・市民病院や共済病院へ向かうには、平塚駅（南口 北口）でバスの乗換が必要。
- 【大野地区】・バス路線が平塚駅中心で運行されているので、東西方向への移動が不便。
- 【豊田地区】・バス路線が平塚駅から放射状に運行されているので、例えば豊田本郷～大神へ行くには駅を経由するため非常に時間がかかる。
- 【神田地区】・平塚駅または本厚木駅にはバス移動のみで、各駅までの時間もかかり、車を持たないため年配者では大変時間がかかる。
- 【城島地区】・バス路線はバス停の周辺に住んでいる方のみが利用している状況。
- 【岡崎地区】・鉄道駅まで向かうバスの運行本数が少ない。
- 【金田地区】・金田公民館行きのバスが運行されるようになったが、バスの運行本数が少ない。
- 【金目地区】・平塚駅や秦野駅へ行くバスが無く不便。徒歩で東海大学前駅を利用することが多い。
- 【土沢地区】・駅やバス停が遠く、駅までのバス本数が少なく不便。住民の公共交通に対する期待は少なく、自家用車や自転車利用を前提に居住している。
- 【旭地区】・バス停から離れた区域の方はバス停まで遠く不便。

2 2 事業者アンケート（代表）

公共交通（鉄道・バス）を利用した通勤の推奨状況をみると、「推奨していない」が75.0%となっている。一方、「推奨している」（25.0%）の理由としては、「安全面、交通事故のリスク回避」や「交通渋滞緩和の観点」、「従業員用駐車場の確保に限りがあること」、「バス停が近い」などがあげられる。

地域公共交通に対する主だった意見としては、駅へのアクセス性向上やバスの利便性、情報提供に対する意見がみられる。

公共交通（鉄道・バス）を利用した通勤を推奨していますか。

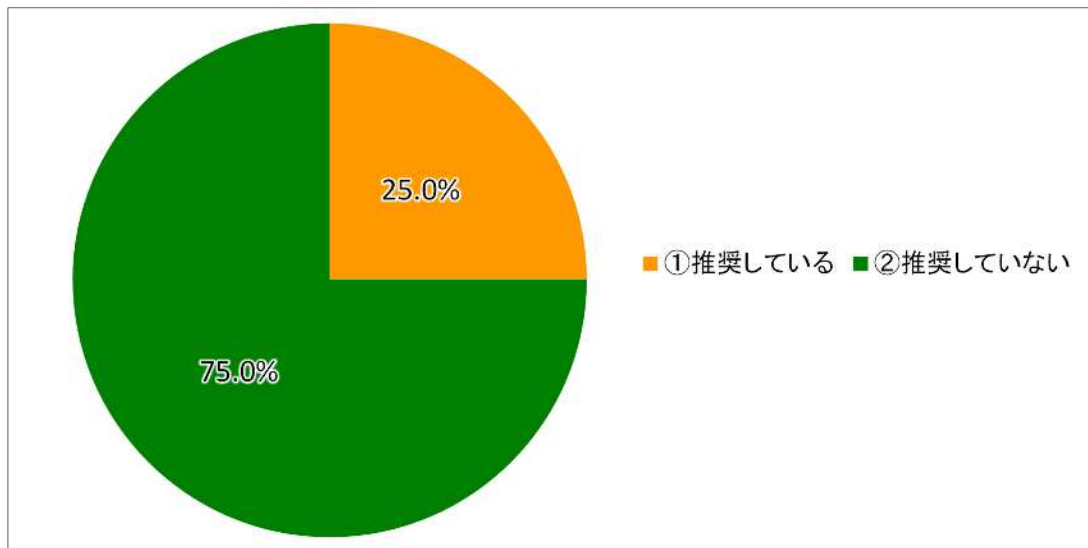


図 通勤時における公共交通の利用推奨の状況

地域公共交通に対する主だった意見

- ・路線バスの不便さを感じる。（通勤時間の混雑、遅延や、通勤時間帯以外と休日の便数の少なさ）
- ・JR 平塚駅北口バス乗り場の表示がわかりにくい。

2 3 事業者アンケート（個人）

事業所へ通勤する際の公共交通の利用のしやすさをみると、「とてもしやすい」「ある程度しやすい」が38.6%となっている。一方、「やや困難」「非常に困難」は32.6%であり、その理由としては、「最寄バス停が遠い」「平塚駅～会社までにちょうど良いバス路線がない」「バス本数が少なく、遅延が多いため時間が読めない」があげられる。

公共交通（鉄道・バス）による通勤がしやすいですか。

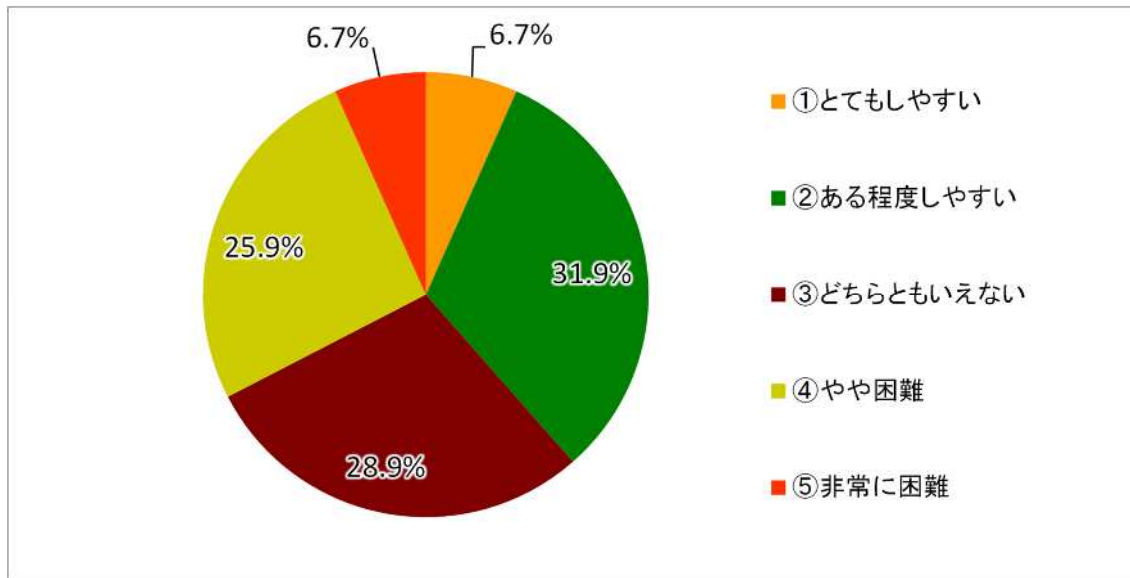


図 通勤時における公共交通の利用のしやすさ

地域公共交通に対する主だった意見

・路線バスの不便さを感じる。（最寄バス停が遠い、平塚駅～会社までにちょうど良いバス路線がない、通勤時間の混雑、遅延や、通勤時間帯以外と休日の便数の少なさ）

2 3 商店会アンケート

商店会活性化のための公共交通の必要性をみると、「必要と感じている」が63.2%となっている。

主な理由として「現在、買い物客が鉄道、バス、タクシーを利用しているから」、「都市間競争が激しいことから、複数の鉄道路線の乗り入れが望まれる」、「中心街に人々が集まる手段として必要だから」などがあげられる。

商店会活性化のために公共交通（鉄道、バス、タクシー）は必要だと感じますか。

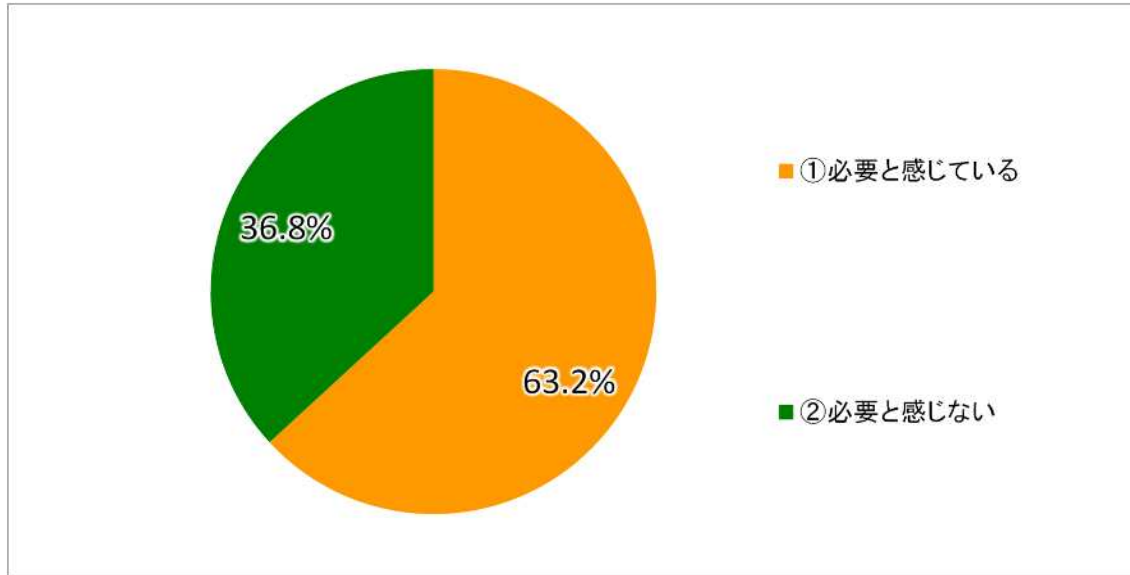


図 商店会活性化のための公共交通（鉄道、バス、タクシー）の必要性

地域公共交通に対する主だった意見

- ・小田急線への接続がもっとほしい。例えば、金目～東海大駅の接続、金目～伊勢原駅の接続、南北への交通アクセス。
- ・ツインシティ大神までバスレーンを作る。
- ・街の活性化のためには東海道線だけでなく、他の鉄道路線の乗り入れが必要。

2 4 高校アンケート

各高校の生徒が通学時に利用する移動手段（路線バス利用、スクールバス利用、その他）をみると、平塚駅から離れて立地する高校での市内バスの利用率は比較的高い傾向にある。また、スクールバスは、3校（湘南養護学校、平塚養護学校、平塚盲学校）で運行しているが、その利用率は低い状況にある。

スクールバスを運行する高校のうち、湘南養護学校と平塚養護学校では利用可能人数は、小中学部生の利用状況に応じて高校生の利用が可能になるなど流動的なため0%としている。

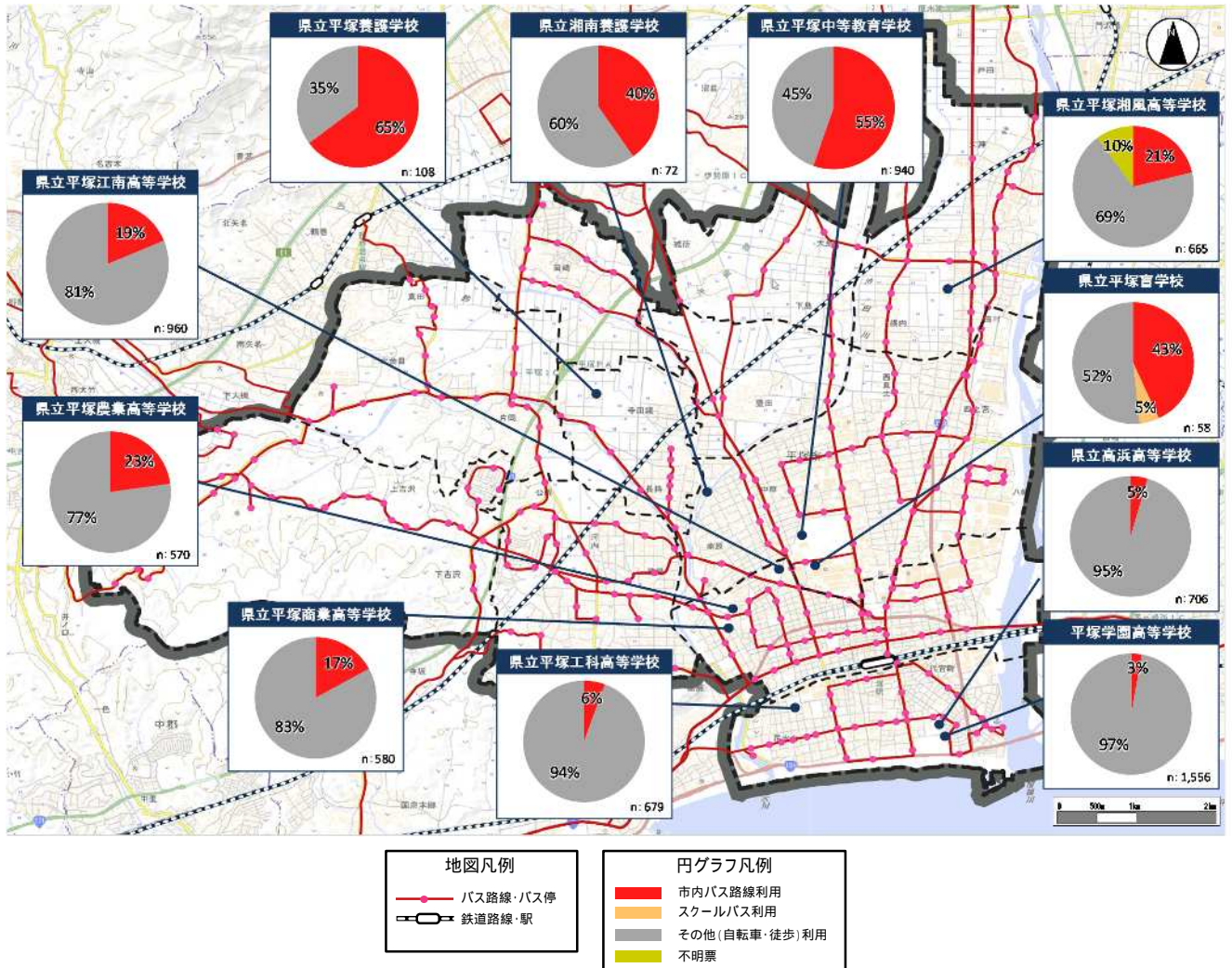


図 平塚市内の高校における通学時の移動手段割合

地域公共交通に対する主だった意見

- ・平塚市のバス路線は、平塚駅を中心に北部は放射状に広がっている印象がある。
- ・一度平塚駅に出て、乗り換えて通学している生徒もいる。
- ・神田地区から西方面へのルートの新設していただけると、現在よりもスムーズに通学できると思われる。
- ・平塚から、大磯、二宮方面に行くルートで、山間を通る本数も若干増えると、生徒も利用しやすい。